



# ネイチャーセンターだより

2018年2.3月号

## いきもの図鑑 ハシボソガラス



町なかや海辺、川辺などに住むカラスのなかま。町なかや林に多いハシボソガラスにくらべ体がやや小さく、くちばしはすらりと細い。声は「ガーガー」とにぞっている（ハシボソは「カーカー」）。開けた場所が好きで、まばらな林の木の上に巣を作る。地面を歩いて食べものを探ることが多い。

人間がすてた食べ残しも食べるが、春国岱では海岸で貝やカニ、魚の死体などを食べている姿をよく見かける。貝を高いところから落とし、殻を割ってなかみを食べることも多く、道路や木道の上に点々と貝ガラが落ちているのは、だいたいこの鳥の食事のあとである。食べきれない食べものを隠しておいて、あとで食べることもある（貯食）。

アイヌ語では「シラルワク(磯に住む)」とか、「カララク(ガラと鳴く)」と呼ばれ、カムイ(神)として扱われている地域もある。その声で人間にいろいろなことを教えるという。

参考文献：高木憲太郎（2004）生態図鑑ハシボソガラス .Bird Research News:1(4). 更科源蔵・更科光(1976)コタン生物記Ⅲ

### 【風蓮湖・春国岱】

今年1月は0度以上の気温の日が多く、春国岱湾は氷が張ったりとけたりしています。完全におおるまでは、タンチョウやオオハクチョウが採食や休息をしている姿が見られるでしょう。

例年は2月がオオワシ・オジロワシがもっとも多く見られる時期です。



タンチョウのつがいのうちの1羽の足には、金属製の足環がついています

## 2、3月の見どころ



「フィーフィー」とかんだかい声でさえずるゴジュウカラ



早春の花、キタミフクジュソウ

### 【自然学習林】

アカゲラ・コゲラなどキツツキ類の声や姿に出会うことが増えます。2月下旬には、ゴジュウカラが早くもさえずり始めます。

3月下旬には、ネイチャーセンターのまわりや林の中でキタミフクジュソウの黄色い花が顔を出します。

# 見どころMAP



## トピックス

### ウズラシギ

春国岱<sup>ちゅうしやじょう おく</sup>の駐車場と奥の木橋の間の草地で秋から冬にかけて2回記録されました。

10月27日 日の入り直後、1羽が「プリュッ」と鳴いて飛び立った。

12月24日 草原で<sup>ようちやう</sup>幼鳥2羽がムナグロ1羽とともに<sup>さいしよく</sup>採食していた。

★ウズラシギはネイチャーセンターの調査では1998～2016年に風蓮湖で11回、記録されています。時期はほとんどが8月下旬～10月(1例のみ5月)で、場所は8例が春国岱でした。数は1～数羽(最大8羽)でした。12月の記録はこれが初めてです。

日本鳥類目録第7版によれば、東南アジアからオーストラリア、ニュージーランド等で冬を越すとされています。





## 自然観察路の復旧について

春国岱の特色ある「草原・湿原・森林」などの自然体験ができるよう整備した観察路（ふるさとの道）が、度重なる自然災害により壊滅的な被害を受けて以来、生息する動植物の観測ができず、春国岱の魅力が全国に伝えられない状況が続いていました。

地域関係団体の協力のもと、様々な自然環境保全事業に取り組んできたほか、大人から子どもまでもが学んで楽しんできた自然公園。傷ついた奇跡の島・春国岱の自然を守り、後世に遺し伝えるために、観察路（ふるさとの道）の復旧と春国岱の環境整備に係る費用について、ガバメントクラウドファンディングによる支援を募ったところ、6,317名の寄附者のみなさまから大変励みとなるコメントと共にご支援いただいたことに、心より感謝とお礼を申し上げる次第です。

現在、観察路（ふるさとの道）の完成が近付いており、復旧後は、環境保全をはじめ、自然学習の再開により、以前にも増す賑わいが訪れると期待しています。

（根室市水産経済部農林課）



## 春国岱クイズ

前浜や春国岱湾の凍っていない水面で見られるカモの仲間、ホオジロガモ。冷たい水の中に何度ももぐり、貝やカニをつかまえて食べているのをよく目にします。

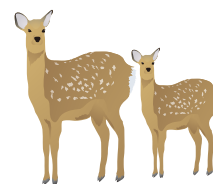
さてこのホオジロガモ、英語ではなんと呼ばれているのでしょうか？

- ① Goldeneye（ゴールドンアイ）
- ② Golden Bat（ゴールドンバット）
- ③ Goldenbomber（ゴールドンボンバー）



# イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ  
電話（0153-25-3047）もしくは直接、メール等のご連絡をお願いいたします。



## ボランティアグループ「スंक」からお知らせ

### 『春国岱ネイチャーセンターまつり』 2月18日（日）10時～14時 開催します！

- プログラム ①スノーシューでこたりのこみちさんぽ  
10時～11時半 先着20名（スノーシューは貸出し）  
②木工教室（魚函づくり・マイ箸づくり・おが粉アート）  
随時受付  
③ネイチャーゲーム（屋内または野外）  
13時～14時

- ★参加費 小学生以上200円（保険代含む）
- ★小学3年生以下がすべてのプログラム保護者同伴
- ★お昼ごはんはご持参ください。休憩スペースあり



募集中！

### ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月末に1回ミーティングを行い、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画しています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のあるかたはご連絡ください。

- ◆対象：高校生以上
- ◆年会費（保険料）：300円



### フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

FB. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

Eメール. [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

◆2月休館日：7・13・14・21・28日

◆3月休館日：7・14・22・23・28日

開館時間：9：00～16：30

◆団体でご利用の方へ（事前申し込みが必要です、詳しくはお問合せください）

クイズのこたえ ① Goldeneye は golden（金色の）eye（目）という意味です。

Golden Bat（金色のコウモリ）はタバコの名まえ、  
Goldenbomber（金色の爆撃機）はビジュアル系ロックバンドの名まえです。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録